

平成31年度年度初め式あいさつ（H31.4.1）

平成31年度年度初め式にあたり、ひと言あいさつを申し上げます。

3月31日には、東遠学園組合のためにご尽力いただいた9名の職員が退職され、本日新たに11名の職員を迎え、平成31年度が本格的にスタートします。

本年度は、平成29年度策定した第2次東遠学園組合基本計画の2年目を迎えます。組合基本計画は、東遠学園組合の運営方針やこれから6年間の中で実施していく主要施策などを位置づけ、すべての職員が同じ方向を向いて各業務にあたり、障害児・者の福祉向上に寄与する、ことを主たる目的としています。

本基本計画は、組合構成市町3市1町からの意見等も取り入れ、実効性のある計画として策定しており、今後も引き続き各市町との連携を図り、計画に位置づけている各事業を着実に進めていくよう取り組んでいきたいと考えています。

3月29日の平成30年度退職者辞令交付式においては、当組合の管理者である太田菊川市長のあいさつの中で、「東遠学園は、まとまりがあり、職員が一生懸命頑張ってくれている。」ということを書いて

いただきました。外から見ている人にも、評価されていることを胸に秘め、今後も自信をもって利用者のための支援にあたっていって下さい。お願いします。

職員の皆さんには、日々仕事をしていくうえではあまり肩肘張らずリラックスして、時にはジョークを交えてコミュニケーションを図り、楽しく明るい雰囲気を出して仕事に取り組んでいっていただきたいと思います。

次に、昨年この場でお話しをさせていただきましたが、皆さまにはこれから1年間、意識して取り組んでいっていただきたい5項目についてお願いをしたいと思います。

①報告・連絡・相談（ホウレンソウ）の励行

- ・何か困ったことがあった時は、一人で悩まず同僚や、上司に相談をかける。
- ・上司に伝えなければならないことは、迅速且つ確実に伝える。

②P（プラン 計画）・D（ドゥ 実行）・C（チェック 確認）・A（アクション 改善）＋F（フューチャー 将来へ）の実行

- ・ひとつの仕事を進めていくには、目的をはっきり持ち、仕事を完結されるまでの計画の立案（スケジューリング）し、実行、

完了した段階で振り返りを行い、改善すべき点などがあれば次に活かしていく。成果が上がったことに対しては、更に上を目指していく。

こうした取り組みを、職員の皆さんすべてが実施できていけば、結果として利用者さん、また、保護者の皆さんに伝わっていくと思います。

③あいさつの励行と風通しの良い明るい職場づくり

- ・自分ではあいさつができていると思っても、意外とできていないことがあります。自分からするあいさつはもちろんですが、相手からあいさつされた時も、気持ちよくあいさつを返すようにしてもらいたいと思います。

おはようございます。からはじまり、こんにちは、失礼します、よろしく申し上げます、お先に失礼します。など、ひとり一人気持ちいいあいさつをするよう、お願いします。

- ・職場は常に風通しを良くし、何でも気軽に話ができる、明るい職場づくりに、管理職が先頭に立って取り組んで下さい。毎日働く職場がいい雰囲気でないとう仕事も楽しくないし、このような環境の中ではいい仕事は決してできないと思います。

また、来園された方には、懇切丁寧な対応、接遇にあたって下さい。

特に問い合わせなどへの対応は、相手の立場に立って、親切に対応するように心がけて下さい。よろしくお願いします。

④一人 1 スポーツ

・ふだんの生活や仕事をしていく中で、一番大切なことは「健康」ではないかと思います。健康な身体を維持していくためには、体を動かすこと、スポーツが一番の特効薬です。毎日はなかなか難しいかと思いますが、1週間に1日でも2日でもいいので、何かひとつスポーツ、身体を動かすことを意識してやってみてください。ストレスの解消にもつながると思います。

たぶんこれまで8回位皆さんの前で言ってきたと思いますが、私はウォーキングをほぼここ4年半、毎日行っています。その甲斐あって、冬の間は一度も風邪をひくことなく、血圧も上が120、下が78でここ何年変わることなく、健康状態もすこぶる良好です。

⑤地域とのつながりを深める

・平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、静岡県でも一昨

年4月から「障害を理由とする差別解消の推進に関する条例」が施行されました。

法律が施行され早3年が経過しましたが、障害者の差別を解消する取り組みはまだまだこれからだと思いますが、私たちができることは、障害のことを地域住民の方々を中心に広く理解していただくことではないかと思います。

幸い東遠学園のある西方地区は、学園に対しての理解が深く、水源祭や地区センターまつりへの招待、東遠まつりへの出展などをおして繋がりが持っているとと思いますが、障がいについての理解ということになると、まだまだそこまでには至っていないと思います。今後一人でも多くの皆さまに理解していただくよう取り組んでいきたいと考えていますので、職員の皆さまにも協力をお願いいたします。

以上、5点について各職場において、また、職員一人ひとり取り組んでいっていただくようお願いいたします。

それから、支援にあたってのキャッチフレーズを昨年勝手に作らせていただきました。資料2平成31年度事業計画書（抜粋）の表紙に記載してありますが、「気づく」「支える」「つなげる」＋

「そして未来へ」、英語で略して「N (Notice)・S (Support)・C (connect)」、+ F 「future」)、です。皆さんの頭の中に入れておいていただけるとうれしいです。

最後に、東遠学園組合は、来年度平成32年の5月に、当組合は設立50周年の大きな節目の年を迎えます。昨年度から50周年に向け課長主幹などを中心に検討委員会を立ち上げ、記念式典の開催、記念誌の発行などについて検討を行っています。今年度においては、職員の皆さまにも計画立案にあたってご協力いただく場面がでてこようかと思いますが、その節はよろしく願いいたします。

最後になりますが、今年も1年間「チーム東遠」で頑張っていきましょう。よろしく願いします。